

2007年12月14日

株式会社 三越 2007年11月上報告

1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	-1.7
日本橋	-2.1
新宿アルコト	-2.4
銀座	-10.0
池袋	0.1
千葉	-2.8
仙台	4.7
札幌	-6.0
名古屋栄(ラシック含)	2.9
星ヶ丘	7.3
新潟	-8.7
広島	-2.7
高松	-1.7
松山	-1.4
福岡	0.9
鹿児島	-4.7

2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		-1.7
衣料品	紳士服・洋品	0.4
	婦人服・洋品	-1.2
	子供服・洋品	2.2
	その他衣料品	2.8
衣料品小計		-0.4
身の回り品		-0.4
家庭用品	家具	-4.5
	電器	84.6
	その他家庭用品	-2.4
家庭用品小計		2.0
食料品		4.3
食堂・喫茶		-3.3
雑貨		-15.4
サービス		-2.6
その他		-5.5

3. 店頭・事業部門別売上高

(金額単位:千円 前年比:%)

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比	売上高	前年比
月計	54,424,568	-3.1	10,462,413	6.0
累計	144,015,758	-3.5	29,174,312	-0.4

4. 来店客数

	前年比 (%)
全店	-0.5

5. 商況概況

<11月商況>

・気温も下がり冷え込んできたことで、ファッション部門ではジャケットやコートなどの重衣料や婦人ブーツなど冬物商材が動き始めた。また、お歳暮が好調なスタートを切るなど食品部門は前年を上回ったが、全体を押し上げるには至らず、全店合計の売上前年比は-1.7%となった。池袋、仙台、名古屋栄、星ヶ丘福岡の5店舗が前年を上回った。

・日本橋本店は、10月に食品707を改装した他、お歳暮も前年比2桁プラスと好調なスタートを切るなど食品部門を中心に売上を伸ばしたが、前年の大口受注の反動もあり、全体では売上前年比は-2.1%。

・銀座店は、ジャケット・コートなどの重衣料や婦人ブーツなど冬物商材が復調傾向になるなど全般的に好調だったが、一部ブランドの契約終了による売上減が響き売上前年比は-10.0%となった。査定に対してはほぼ計画通りに推移。

・池袋店は、店外催事や初企画「北欧フェア」などの集客策が奏功し、売上前年比は0.1%となった。

・名古屋栄店、星ヶ丘店は月初に開催した「ドラゴンズ 日本一記念セール」の効果の他、お歳暮も順調に推移し、売上前年比は名古屋栄店が2.9%、星ヶ丘店が7.3%となった。

<その他>

・お歳暮は、抽選で選べるキタが当たるキャンペーンなど「早期お申し込み推進策」を初めて実施したことが功を奏して全店で好調に推移し、11月は前年を上回った。インターネットもネット限定商品や会員限定のプレゼントキャンペーンが好評で2桁増で推移した。

(参考) 2006年12月からの売上前年比推移(全店計)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全店計	-4.5	-1.0	-3.8	-3.8	-5.2	-2.7	5.0	-5.0	0.3	-5.9	-1.8	-1.7

本件に関するお問合せ先は
 (株)三越 コーポレート推進室 広報担当 03-3274-8007 FAX03-3241-5298